



## 各種講座等の実施

当センターでは、社会参加への支援として、また地域でのより豊かな生活を支援できるよう、各種の講座等を企画して、専門家を講師に招き実施をしてきました。以下、その模様についてご紹介します。

### 肢体不自由者対象のパソコン教室

肢体不自由者対象のパソコン教室を開催しました。講師には、自らも弱視の視覚障害を持ちながら、パソコン教室を営んでいる松田定雄氏に依頼し実施しました。会場は、妻沼中央公民館のパソコンルームをお借りしました。就労に向けて技術を身につけたい、という方や趣味で行っているパソコンの知識と技術のレベルアップをしたい、という方など、初心者から経験者まで6名の方が参加されました。パソコンを使い易いように、障害状況に合わせて設定を行い、パソコンの起動と終了から文章入力、電子メールやインターネットの利用まで学びました。

### ピアカウンセリング

当センターでは、視覚障害者、聴覚障害者、肢体不自由者を対象として、同じ障害を持つ方がカウンセラーとなり、生活上のさまざまな事柄について専門的な相談援助を行う「ピアカウンセリング」を実施しています。平成19年度は、肢体不自由者のカウンセリングを実施しました。今後も、より専門的な相談に対応できるよう努めてまいります。



### 音楽療法(身体・知的)

身体障害者と知的障害者を対象とした音楽療法を実施しました。講師にNPO法人「愛音」に所属する音楽療法士の溝田照子氏、江崎理絵氏を招き実施しました。それぞれ月に1回、荒川公民館に集まり、歌や小楽器の演奏を楽しみました。

「トーンチャイム」という楽器をご存じでしょうか？金属製のパイプをたたいて共鳴させる楽器です。やわらかく、やさしい音色が特徴で、とっても癒されます。一緒に楽しんでみませんか♪



### 視覚障害者対象のパソコン教室

視覚障害者対象のパソコン教室を開催しました。講師として全国ベーチェット協会江南施設の岩下宏氏、パソコンに詳しい専門家の高梨英則氏へ依頼し、会場も同協会江南施設をお借りしました。前期8回、後期8回の全16回の講座に、パソコン初心者の方から経験者の方まで15名の方が参加されました。各参加者の経験に合わせて、講師の方が講義し、細かい質問にも対応していただきました。



### 身体障害者対象の料理教室

身体障害者対象の料理教室を開催しました。講師は、料理旅館にて料理長を務めている新井茂氏に依頼し、勤労青少年ホームの調理室を会場に年間で3回実施しました。視覚障害者、肢体不自由者、内部障害者など、合計26名の方が参加されました。第1回目は「牛肉とゴボウのしぐれ煮の混ぜごはん」と「きのことうぶのかき玉汁」、第2回目は「キーマカレー」と「春の訪れを感じるスープ仕立て」、第3回目は「サンドイッチ」と「鳥の唐揚げサラダ仕立て」を作りました。



### 知的障害者対象の作業療法

知的障害者対象の作業療法を開催しました。講師は、埼玉県作業療法士会に所属する作業療法士の驚田孝保氏と他2名の方に依頼し、実施しました。4名の参加者が月に1回、心身機能の活性化を目的に、中央公民館の実習室等にて創作活動や身体活動などを行いました。創作活動では、ストラップ、キーホルダー作りを、身体活動では、レクリエーションとして、プラスチックのカップを積上げたり、崩したりする速さを競う「スピードスタックス」というゲームや柔軟体操などを行いました。



### 社会生活力プログラム

地域において自立した生活を送りたいと望んでいる障害者に向けて体験学習を実施しました。これは、すでに地域の中で自立生活を実践している障害者が中心となり、参加者との話し合いや実際の体験をとおりて自立生活に必要な知識や技術を習得する体験プログラムです。平成19年度は、「自立生活センター遊TOピア」に委託して、「公共交通機関を利用して買い物に行こう」をテーマに5名の参加者が体験プログラムに参加しました。



### 知的障害者対象の料理教室

ガスボットくまがや(東京ガス熊谷支社)の料理教室に協力していただき、知的障害者対象の料理教室を開催しました。講師の先生に、作り方と手順についてわかりやすく説明していただき、「パスタ入り野菜スープ」と「くるみのスノーボール」(くるみ入りのクッキー)を作りました。平成19年度は、6名の方が参加されました。

